



皆様の「快適な暮らし」のヒントに すまい造りメール

第174号 2016年9月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成28年8月30日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
http://www.sano-k.net/
info@sano-k.net

♪ダイヤモンドだね～

日の出や日の入りの時間帯に、富士山のちょうど山頂に太陽がある状態をダイヤモンド富士と言います。放射状に放たれる光は、その名の通り、まさにダイヤモンドのようです。ちなみに月の場合は、パール富士と呼ばれています。

野島に掛かる夕照橋の上から、天気良ければ、9月13日(火)17:30頃から観測することができるかもしれません。春と秋の年に2回しかない貴重な現象です。元気のある人は、野島山の展望台がおススメです。



イメージ写真

よこすか産業まつり

11月5日(土)・6日(日)に三笠公園で開催される横須賀市最大のイベント「よこすか産業まつり」にペーパークラフト教室「みんなde街づくり」を出展します。今年で8年目となります。Episode8のテーマは昨年から3年計画でスタートした歴史を活かした街づくりで、鍬入れ式から150周年を迎えた横須賀製鉄所「ARSENAL D' IOKOSKA」にタイムスリップしながら街並みや景観を考えて、サイコロキャラメルの空き箱を使って、自分でデザインした住まいを配置して、みんなが住みやすいように、街づくりをしていただきます。



皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
創業 1960.1.20. Next50
創刊 2002.4.1.

よこすか文学館

中古、中世の物語文学を中心に研究されている中島正二氏に、歴史、小説、映画などジャンルを越えて「よこすか」が舞台となった芸術作品を紹介していただきます。
(すまい造りメール第77号参照)



第九話

海軍機関学校と文学者たち

近代の横須賀といえば「海軍」。その教育機関の一つの海軍機関学校は、前身の海軍兵学寮分校が明治7年(1874年)に横須賀に設置され、名称変更や廃止、再開などを経て、関東大震災のため江田島に移転する大正12年(1923年)まで当地にありました。この横須賀時代、芥川龍之介が大正5年から8年まで英語教官を務め、横須賀線が舞台となる「蜜柑」を書いたことは有名ですが、彼の友人で小説家、随筆家内田百閒もドイツ語教官として、また、芥川とともに第3次「新思潮」の同人となり、『ジャン・クリストフ』『レ・ミゼラブル』などの翻訳で知られる豊島与志雄もフランス語教官として、教鞭を取っていました。



吉倉公園にある小説「蜜柑」の記念碑

洗足学園中学高校教諭
中島正二

今回は最近良くご用命をいただくようになった庭木の伐採や剪定について2件ご紹介させていただきます。

今まである程度は、ご自分でこまめに整えたりされていたのですが、高いところ上るのが怖くなったということから、ご相談を受けるようになりました。このところの暑さで、草木の成長も少し早くなったような気がします。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

①通路から庭に至る草木を2～3年おきのペースで剪定しますが、1回で2tトラックが一杯になります。②松の木の剪定は、春と秋の2回行うのがベストです。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ビフォー、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



洗足学園中学高校教諭
中島正二

横須賀製鉄所物語（製鉄所への陸路）〈27〉

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀製鉄所についてお話しを伺いました。

横須賀製鉄所建設以前の三浦半島では、浦賀や三崎がまちとして開かれ繁栄し、横須賀はその道筋の小さな集落の集まる存在でした。その横須賀の江戸や横浜からの交通アクセスはどのようであったのでしょうか。『新横須賀市市史』通史・近世や横須賀中央文化振興懇話会発行の『町の発展史』にほぼ同様の記述がされています。『町の発展史』によりますと「江戸から三浦半島に入る陸路は、東京湾沿いの浦賀道（保土ヶ谷宿－田浦十三峠－逸見－汐入－大津－浦賀）、半島内部の鎌倉道（藤沢宿－鎌倉－小坪－木古庭－衣笠－大津－浦賀）が主要道であったが山越えて上り下り坂の道であった」と記されています。

この陸路の江戸・横浜からの横須賀製鉄所へのアクセスは、ヴェルニーが任務を終え帰国する1876年（明治9年）までには改善されることはありませんでした。

鉄道から見てみますとJR横須賀線は、軍からの要請により東海道線の大船駅から分岐して横須賀駅まで建設され、1889年（明治22年）6月16日の開業でした。京浜急行は品川浦賀間が1933年（昭和8年）の開業で何れもヴェルニーの在任中には利用できるものではありませんでした。

道路については、現在の国道16号の追浜から船越への「浦郷隧道」が1925年（大正14年）の開通なので、陸路での横須賀製鉄所へのアクセスは浦賀道に頼ることになります。しかし、ヴェルニーが帰国する1876年（明治9年）には、横須賀製鉄所も従業員が千数百人にも及ぶ日本最大の大工場に発展し、明治新政府の殖産興業の模範工場であり、日本産業革命の礎を築く工場の横須賀製鉄所に必要な物資の輸送は道幅も狭く、急な山坂の陸路ではとても望み得ず、海上交通に依存せざるを得なかったのです。

（元横須賀市助役 井上吉隆）



①JR横須賀駅
②逸見波止場衛門
③国道16号線沿いの追浜町・船越町間を結ぶ浦郷隧道（左）と新浦郷隧道（右）

時代は8K

解像度がフルハイビジョンの4倍になることから名付けられた「4Kテレビ」がリオ五輪の影響もあり、本格的に普及しはじめてきました。

さらに、その倍の八景（8K）の再開発も本格化してきました。

京浜急行線を跨ぐように全長約58mの東西自由通路の架設工事がはじまりました。この通路は、2019年の完成予定で、金沢シーサイドライン新駅舎と橋上化される京浜急行金沢八景駅舎と接続され、駅東西を結ぶ歩行者専用の通路となります。

ターミナル駅としてさらに便利になりそうです。なんてたって、今までとは改造度が違います。

現在の金沢八景駅周辺の工事の進捗状況



「整備イメージ」「金沢八景駅周辺基本計画図」（いずれも横浜市ホームページより）

お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2016」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索